

患者代表に株渡す

水俣病を告 発する会 総会での戦術練る

「チツソの株を持って株主総会に出席して責任を追及しよう」という、「一株運動」を進めている熊本水俣病を告発する会は三十日午後六時から熊本市水道町の県福祉会館で「水俣病の責任を追及する熊本地区株主総会」を開き、名義書き換えのすんだ一株株式を患者代表に贈るとともに、十一月末に予定されているチツソの秋期株主総会に乗り込む決意を表明した。

この「株主総会」は、一株運動の名義変更がすすみ、株券を一株株主に授受する機会をとりえて、一

株運動のアピールやチツソ株主総会席上での戦術を練るため開いたもので、告発する会の呼びかけで株を買った一株株主（実際には十株、五十株株主もある）百五十人のほか、チツソの株主総会に出席する渡辺栄蔵さんら患者代表が出席した。熊本告発する会の本田啓吉代表があいさつに立ち、一株運動の意義について語ったあと、これまでの運動の経過報告があった。本田啓吉代表が株主総会に出席する十三人の患者名義の株券を手渡し、渡辺さんが「ご支援に感謝

します、わたしたちは巡礼客で株主総会に参ります」とお礼のことばを述べ、日吉フミ子水俣病市民会副議長も「患者さんとともに株主総会に乗り込みます」と決意を表明、巡礼のさい歌うため練習中という歌歌の一節を披露して拍手を浴びた。

このあと株主から決意表明、総会当日の行動提起がされたあと、現在東フロが撮影中の水俣病を素材にした自主映画「告発七〇水俣」のラッシュを見て十時すぎ散会した。

この一株運動ではこれまで全国で約五万株を集めており、新株主人は五千五百人。このうち熊本水俣で一万三千三百株（四百二十六人）を持っている。

なお同じような新株主による地区株主総会は東京告発する会が十一月十九日に、大阪では十一月二十四日中之島公会堂で開くことになっている。

3人を熊大で精密検査

水俣病の精密検査患者

熊本・鹿児島両県公害被害者認定審査会（鹿児島市）は三十日午後四時から、熊本市水前寺公共会館で開き、さる六月二十七日に決めた水俣病「要再検査」患者十五人の取り扱いを協議した。この結果、十五人の鹿児島県一人のうちに三人を熊本大付属病院に

熊本水俣病を告発する会の「チツソ株主、総会（県福祉会館五階ホールで）

